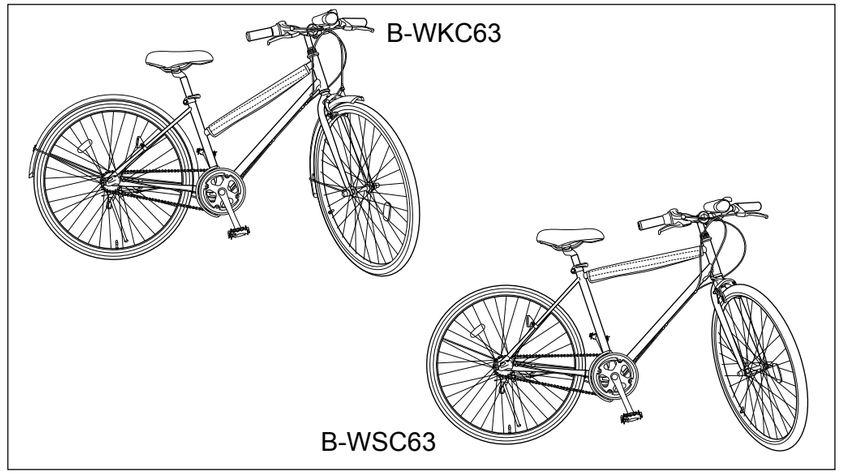
Panasonic

取扱説明書
スポーツ車

ワンウェイ kc/sc

品 番 B-WKC63
B-WSC63



※イラストは､イメージ図を使用しています。形状やデザインが､お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に **「 安全上のご注意 」(2 ～ 7 ページ)** を必ずお読みください。
- ●保証書は「 お買い上げ日・販売店名 」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ●お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い
- ●この自転車を新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- ●安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- ●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- ●必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。(法令で義務付けられています。)

お知らせ
- ●この自転車は、幼児用座席を取付けることはできません。

保証書別添付

もくじ

乗るまえに
- ●安全上のご注意 …… 2
- ●各部のなまえ …… 8
- ●乗るまえの点検と調整 …… 10
- ●正しい取扱い方法 …… 17

必要なとき
- ●保管／廃棄 …… 22
- ●定期点検 …… 23
- ●お手入れ／注油について …… 24
- ●盗難補償とアフターサービス …… 26
- ●自転車安全基準／ BAA マーク … 27
- ●オプション (別売部品) …… 28
- ●仕様 …… 30

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】
- ・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- ・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
(お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。)

修理・取扱い・手入れなどは まず、お買い上げの販売店へ ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

東北	地区 (022) 382-7791	東京・神奈川・千葉	地区 (0422) 34-4117
埼玉・群馬・新潟	地区 (0480) 93-8071	栃木・茨城	地区 (0286) 52-5046
中部 (新潟除く)・東海	地区 (0587) 54-4111	近畿	地区 (072) 975-4100
中国・四国	地区 (082) 870-7776	九州・沖縄	地区 (092) 621-9918

※受付時間　平日 (土・日・祝日および年末年始等の連休を除く) 9:00 ～ 17:00
※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室 (下記) におかけください。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室
Tel ：(072) 977-1603
受付時間　9:00 ～ 20:00

パナソニック サイクルテック株式会社
〒 582-8501 大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

© Panasonic Cycle Technology Co., Ltd. 2009

NYT1132 G0709-11009

安全上のご注意（1）

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

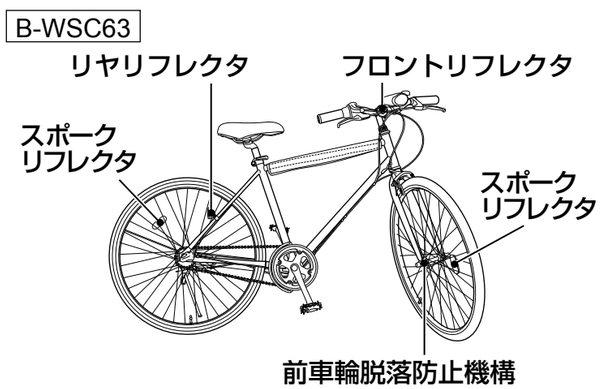
⚠危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

B-WKC63

B-WSC63



⚠警告

■安全装置は取り外さない

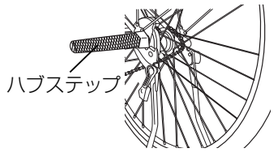
外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

■分解や改造はしない

部品が破損したり、外れて転倒によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■ハブステップなどの突出物を装着しない



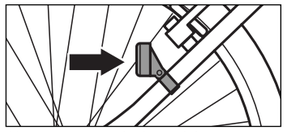
歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

■悪路荒野では使用しない

転倒によるけがのおそれがあります。
●この自転車は一般（普通）道路専用です。

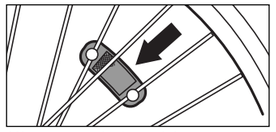
■安全装置

リヤリフレクタ（後部反射器）



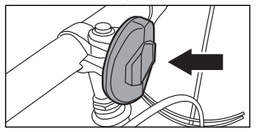
後ろからの光を反射します。

スポークリフレクタ



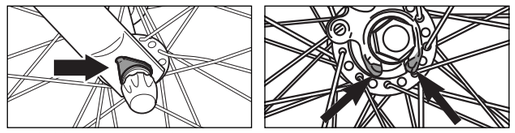
横からの光を反射します。

フロントリフレクタ（前部反射器）



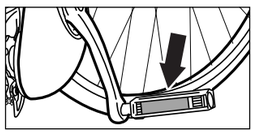
前からの光を反射します。

前車輪脱落防止機構



前車輪の脱落を防止します。

ペダルリフレクタ



前後からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
（リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。）

安全上のご注意 (2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないで
ください。

安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童(13 歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。

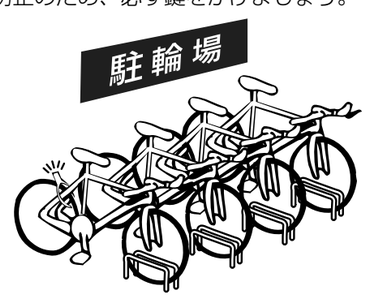
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

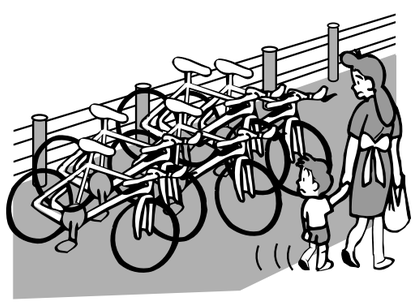
決められた場所に駐輪してください

●駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



■自転車の交通安全ルールを守りましょう

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

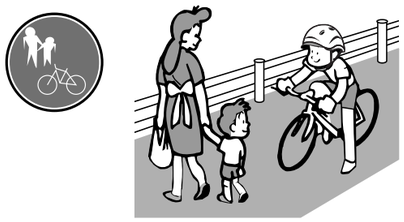
自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。

次の様な場合は、歩道通行ができます

(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

●自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

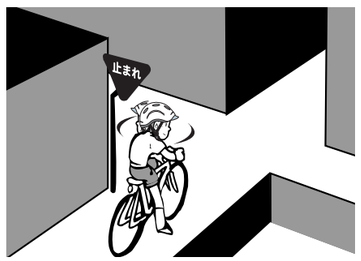


二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

●6 歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

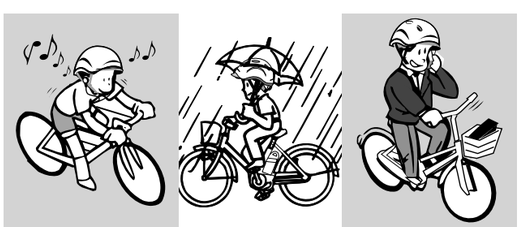


夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。

次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘さし運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。



安全上のご注意（3） 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する ⚠

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する ⚠

交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する ⚠

転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）

スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しいところを走らない（歩道の段差や、溝など）

フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

カーブでつま先が前車輪にあたり転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使い方

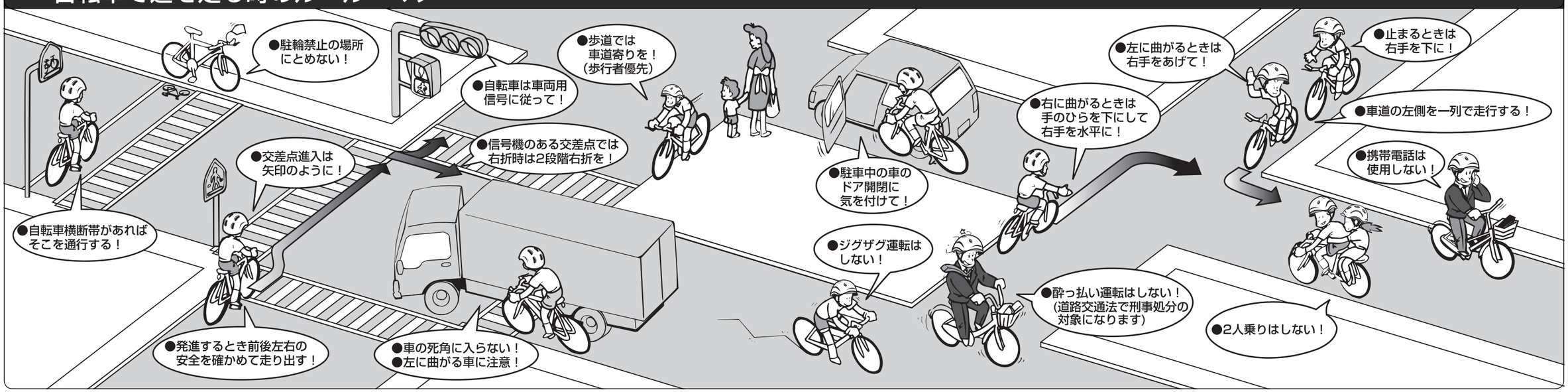
■走行以外に使わない（踏み台代わりなど）

転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない

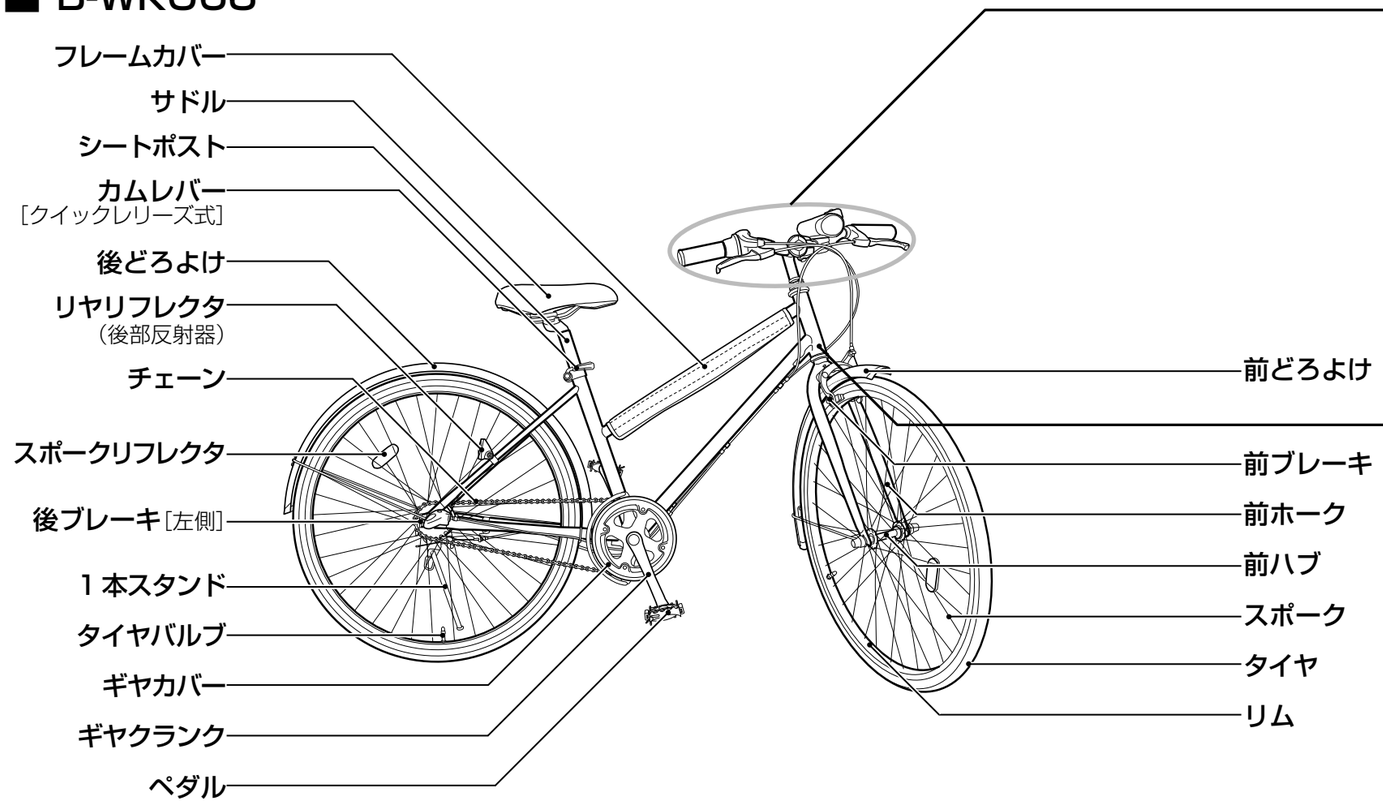
車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

自転車で道を走る時のルール・マナー

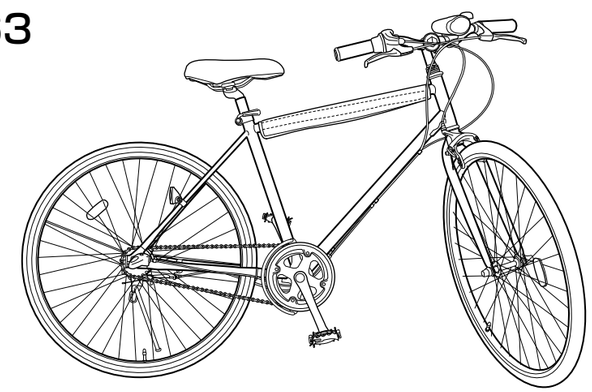


各部のなまえ

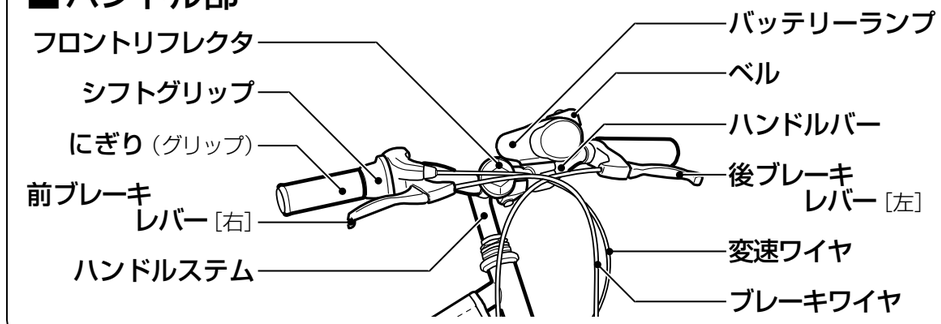
■ B-WKC63



■ B-WSC63

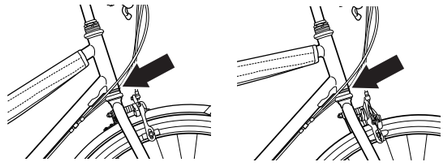


■ハンドル部



■品番表示

● B-WKC63　● B-WSC63



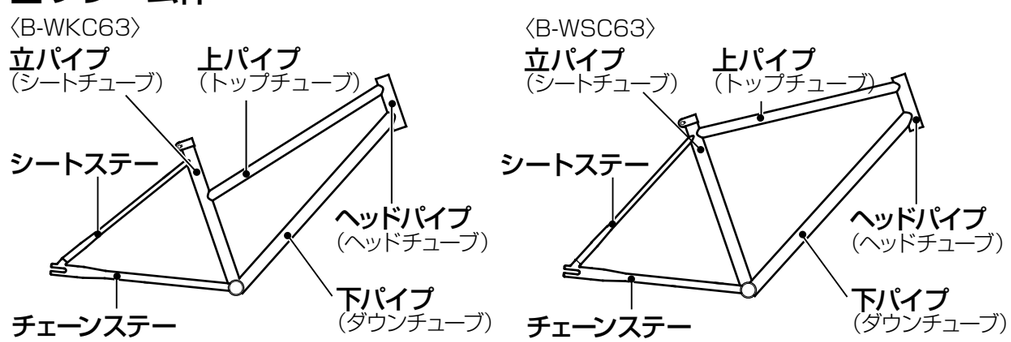
B-WKC63 F
車種品番　色

車種品番表示はフレームの図の位置に貼付されています。

■車体番号（刻印位置 右側）

9文字（数字と英字）で表示しています。
防犯登録に必要です。

■フレーム体



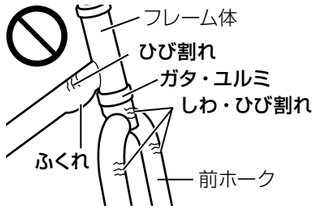
乗るまえの点検と調整（1）

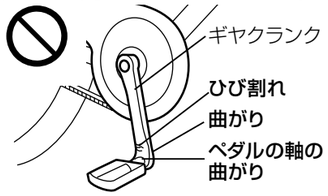
日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

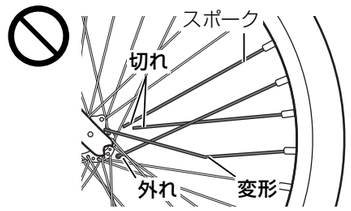
安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

⚠警告

■各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等があるときは乗らない







折れて転倒によるけがのおそれがあります。

- ●ガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- ●前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- ●スポークが１本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

■乗るまえの点検は、必ず実施する

事故や転倒によるけがのおそれがあります。

- ●前後ブレーキの効き、作動の点検をしてください。
- ●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- ●前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- ●前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。

■点検で異常があったときは、乗らない

事故や転倒によるけがのおそれがあります。

- ●異常があったときは販売店にご相談ください。

■ハンドル

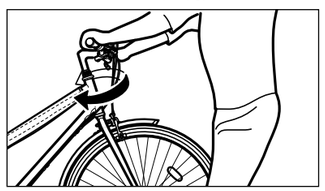
⚠警告

■はめ合せ限界標識が、見えるまで上げない

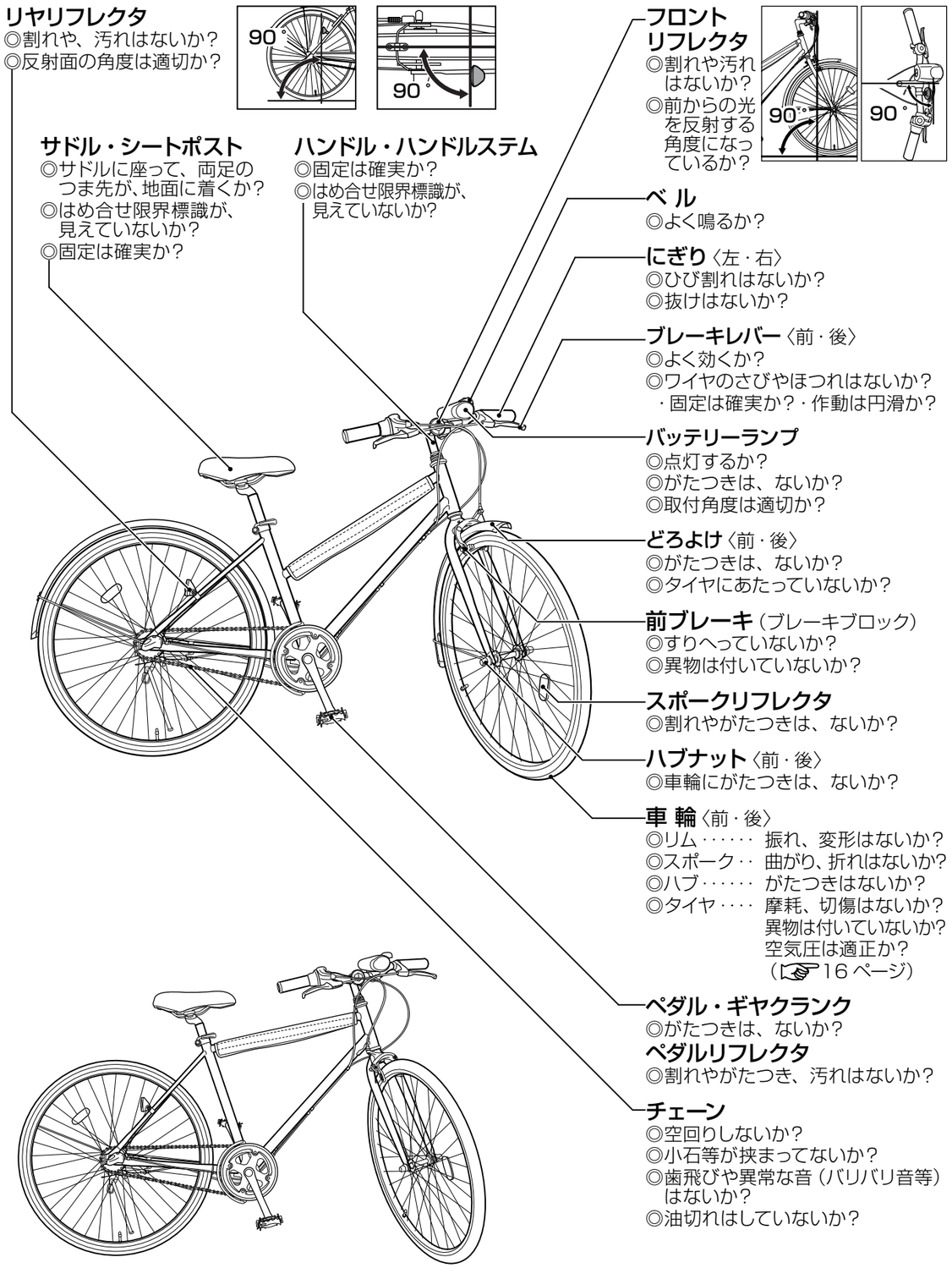
■調整後は必ず点検する

前ホークステムが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

●ハンドルの点検



左右に強く力を加えても、動かないこと。

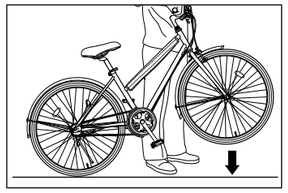


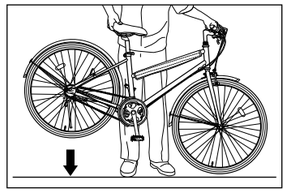
乗るまえの点検と調整（2）

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

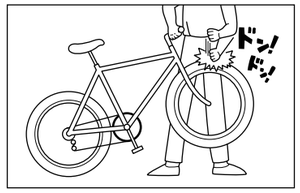
■各部のゆるみ

●車輪の締め付け部



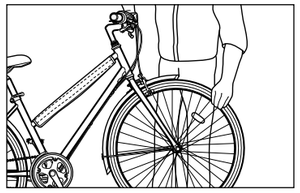


車輪を 10 cm 程度の高さから落とし、車輪などの締付部にがたつきがないこと。（前後とも）



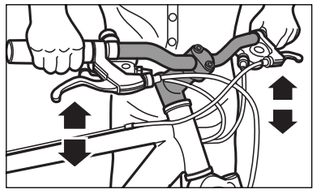
車輪を浮かせ強くたたいても、がたつきがないこと。

●車輪の振れ



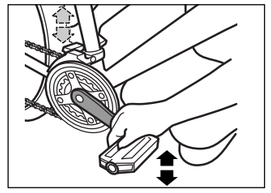
少し持ち上げ回転させ、上下左右に大きくふれないこと。

●ハンドルバー



バーを手で持って、上下に強く力を加えても、動かないこと。

●ギヤクランク

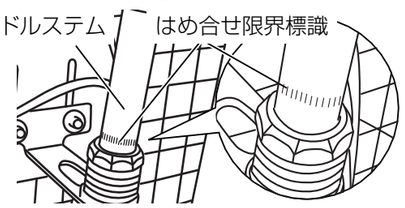


左右交互に力を加えても、がたつかないこと。
スムーズに回転すること。

■ハンドルの高さ調整（販売店に依頼してください）

⚠警告

■ハンドルステムのはめ合せ限界標識が見えるまで上げない



ハンドルポストが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

■チェーンの調整（販売店に依頼してください。）

⚠警告

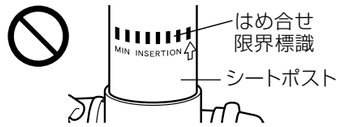
■チェーンがたるんだまま走行しない

チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり危険です。転倒や衝突によるけがの原因になります。

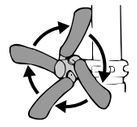
■サドルの調整

⚠警告

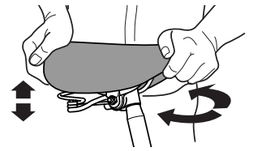
■はめ合せ限界標識が、見えるまで上げない



■カムレバーを回転させて締めつけない



■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する



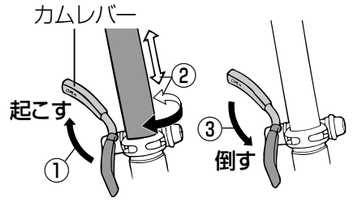
シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

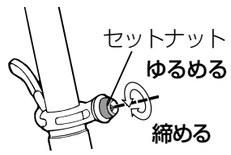
■サドルの上面が傾いたまま走行しない

サドル固定ボルトが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

●高さと向きの調整

①カムレバーを後方向に起こす。
②サドルの高さ、向きを調整する。
③カムレバーを前方向に倒して固定する。



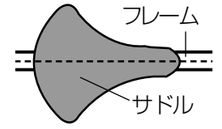


※カムレバー固定の調整は、セットナットを回転させてください。

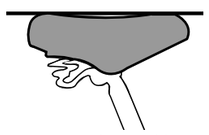
お願い

- カムレバーを倒すときの力は、レバー先端に 150N {15kgf} の力で閉じられるようにセットナットを調整してください。
- さび付きによる固着防止のために、シートポスト（立パイプに挿入されている部分）に、薄くグリスを塗ってください。

●サドルの正しい方向と角度

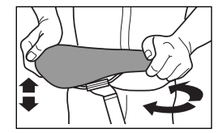


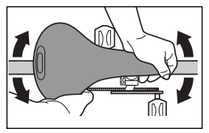
フレームと平行に合わせる。



サドルの上面と地面を平行にする。

●サドルの点検





上下・左右交互に強い力を加え、がたつきやずれがないこと。

乗るまえの点検と調整（3）

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

■ブレーキの調整（販売店に依頼してください。）

⚠警告

■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない

ブレーキが効かなくなったり、効き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがの原因になります。
●ブレーキが効かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

■ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがの原因になります。

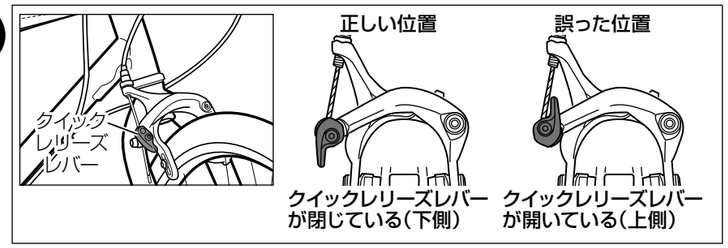
■ローラーブレーキグリスの補給には、必ずローラーブレーキ専用グリスを使用する

制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●販売店でローラーブレーキ専用グリス（当社品番：NBP002）を補給してください。

■音鳴りがしたり、ブレーキの効きが強すぎる場合は使用しない

転倒や衝突によるけがの原因になります。
●すぐに販売店で点検を受けてください。

■前ブレーキのクイックレリーズレバーを動かさない〈WSC63〉



ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがの原因になります。

⚠注意

■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

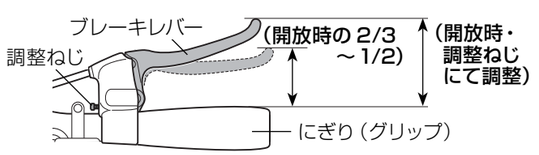
ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

接触禁止

※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ～ 1/2 の位置で、ブレーキが効きだすように、調整する。

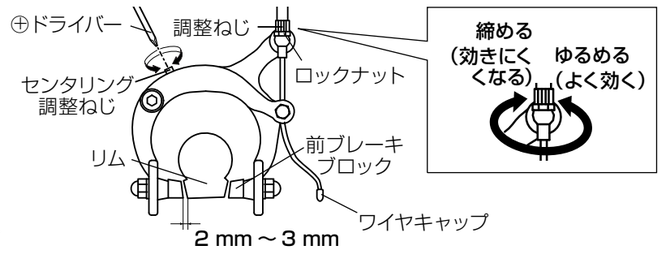


お願い

●上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。

●前ブレーキ〈WKC63〉

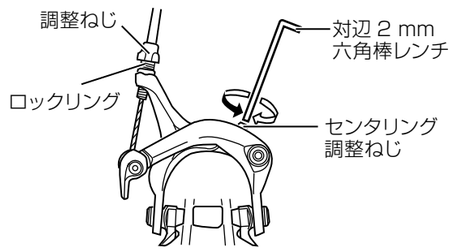
①ロックナットをゆるめる。
②調整ねじを回す。
③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
④走行してブレーキの効きを確認する。
⑤調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。



締付トルク 1 N·m ～ 2 N·m {10 kgf·cm ～ 20 kgf·cm}

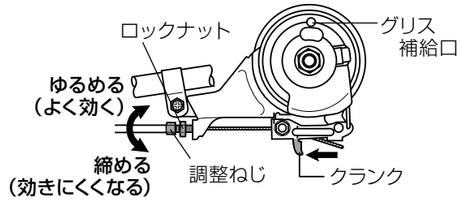
●前ブレーキ〈WSC63〉

①ロックリングをゆるめる。
②調整ねじを回す。
③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
④走行してブレーキの効きを確認する。
⑤調整ねじがゆるまないよう、ロックリングを締め付ける。



●後ブレーキ（ローラーブレーキ）

①ロックナットをゆるめる。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの効きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。
締付トルク 1 N·m ～ 2 N·m {10 kgf·cm ～ 20 kgf·cm}



お願い

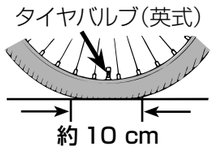
●確実な制動力を得るために、通常 1 ～ 2 年に 1 回程度は販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
●ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキが効き過ぎたり、逆に効かないことがあります。また、使用によるなじみや摩耗で、ブレーキの効き具合が変わります。ブレーキが効きにくい場合は、販売店で点検を受けてください。

乗るまえの点検と調整（4）

■空気圧の点検（前後のタイヤ）

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 10 cm 程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
（345 ～ 515）kPa が適正です。



ご注意

- ●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
- ●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- ●タイヤバルブの型式は、英式です。

●空気の入れ方

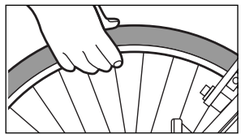
自転車用のポンプを使って空気を入れます。
圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の標準空気圧表示を目安にしてください。

〈参考〉タイヤ側面の標準空気圧表示

kPa 表示	280	345	450	515
(PSI 表示)	40	50	65	75
{kgf/cm² 表示}	2.8	3.5	4.5	5.2

※ (PSI 表示) と {kgf/cm² 表示} は、参考として示したものです。

●タイヤの点検



切傷や亀裂がないこと。
摩耗していないこと。

■タイヤについて

お願い

- ●タイヤの空気圧はタイヤに表示されている標準空気圧(推奨内圧)にしたがってください。パンクの原因になります。
- ●走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクの原因になります。
- ●ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。

■バッテリーランプの点検

⚠ 警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

スポークに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
- ●ライトがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

●照らす位置

お願い

- ●角度の調整は販売店にご相談ください。

正しい取扱い方法（1）

■ バッテリーランプの取扱い

⚠ 警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

前方を照らす角度がくるい、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
- ●乗る前に点検してください。

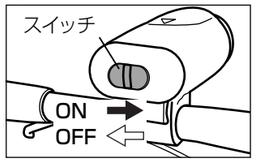
■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
- ●ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

■走りながら、スイッチの操作をしない

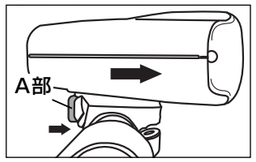
片手運転になり、転倒によるけがのおそれがあります。
- ●停止して、手で操作してください。

●点灯のしかた



スイッチを右側にスライドすると点灯し、左側にすると消灯します。

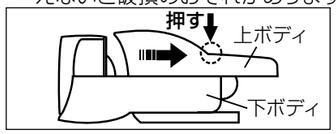
●本体の取り外しかた



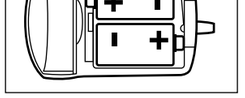
A部を押さえながら本体を前にスライドさせて外します。取り付け方はカチッと音がするまで後方にスライドさせます。

●電池の交換方法（電池は単 2 形アルカリ乾電池をご使用ください。）

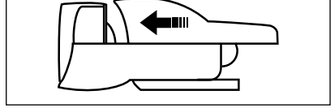
①丸印の部分を押しながら、上ボディを後ろへスライドさせます。（押さえないと破損のおそれがあります。）



②電池を交換する



③下ボディに上ボディをのせ、パチッと音がするまで前へスライドさせます。



お願い

- ●取り替えた電池は、地域で定められた条例に従って、処理してください。

お知らせ

- ●使用時間の目安は、連続 8 時間（アルカリ電池使用時）です。
- ●出荷時はモニター電池を入れておりますので、お早めに電池の交換をお勧めします。

●電球の交換

※電球仕様 2.5V—0.5A クリプトン球（口金 P13.5S）

お願い

- ●電球の交換は販売店にご相談ください。

■ 乾電池の取扱い

⚠ 危険

■電池の電解液が目、皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける

失明やけがのおそれがあります。

⚠ 警告

■乾電池の使用は次のような使い方をしない

- ●充電しない
- ●電池を火の中に投入しない
- ●新旧・異種の電池を混用しない
- ●電池をショートさせない
- ●電池の⊕⊖を逆にして使用しない
- ●使用済電池を使用しない

使い方を誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂による、けがのおそれがあります。

正しい取扱い方法（2）

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速のしかた

⚠ 警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度 | 15 km / h ～ 25 km / h

衝突や転倒によるけがの原因になります。

■一度に 2 段変速しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒によるけがのおそれがあります。

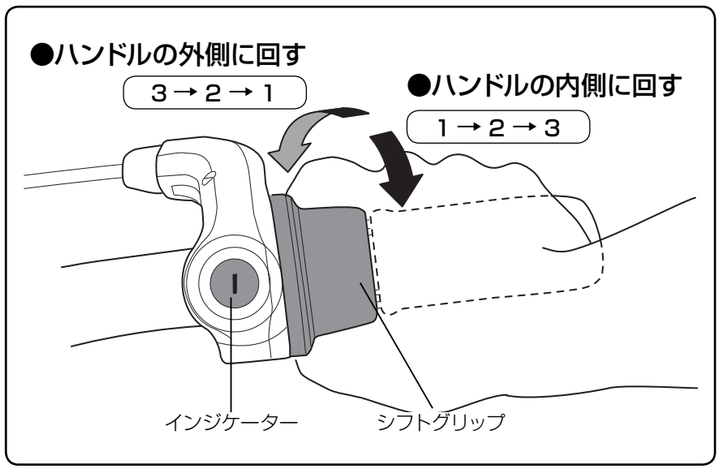
●1 段ずつ変速してください。

お願い

●変速操作は、よく練習してください。
●シフトグリップを無理に回す変速はしないでください。（変速機を傷める原因になります。）
●変速するときは、足を止めるか踏む力を抜いてください。

お知らせ

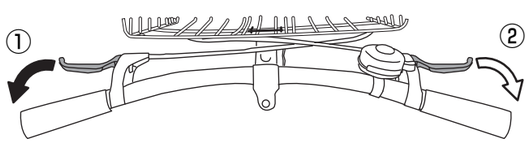
●シフトグリップを操作すると、位置決めの軽い手ごたえがあり、その位置が、適正ポジションになります。



変速位置	ペダルの回転が	
	軽くなる	重くなる
1	↑	↓
2	↑	↓
3	↑	↓

■ ブレーキのかけかた

①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。



⚠ 警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

お願い

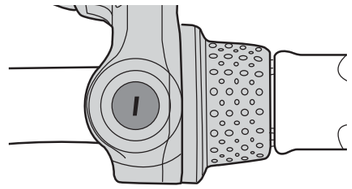
●急な坂道のときは、降りて押してください。
●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がですぎないように走行してください。
●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

■変速機の上手な使いかた

（標準的な変速位置を示していますが、自分の体調や脚力にあわせ、適切な変速位置をお選びください。）

発進するとき

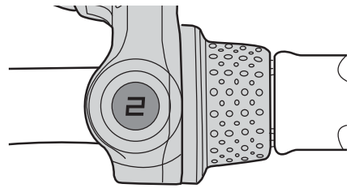
1 の位置にあわせる。



●前後左右の安全を確認してから発進する。

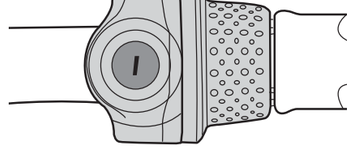
平地を走るとき

2 の位置にあわせる。



上り坂のとき

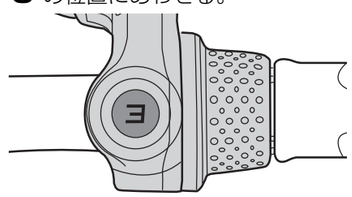
坂の手前で…
1 の位置にあわせる。



●急な坂道のとき
⇒**降りて押す。**

下り坂のとき

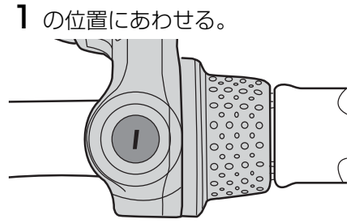
坂の手前で…
3 の位置にあわせる。



●急な坂道のとき
⇒**降りて押す。**

停止するとき

停止する手前で…
1 の位置にあわせる。



次の発進が楽になります。
●**後ブレーキを先にかける。**

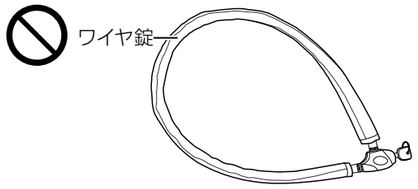
乗るまえに

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ 錠について（ワイヤ錠）

⚠警告

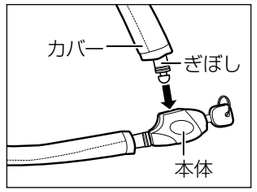
■ワイヤ錠を車輪の近くやハンドル、肩などにかけて走行しない



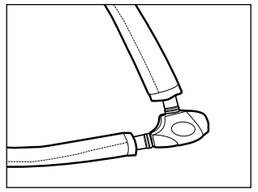
スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒するおそれがあります。
●カバン等にいれて走行してください。

●施錠方法

①ぎぼしを本体に「カチャ」音がするまで差し込む。

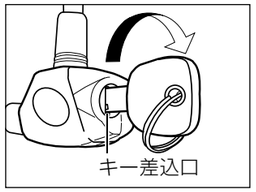


②キーを抜く

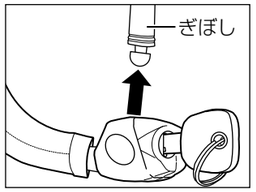


●開錠方法

①キーを差し、時計方向に回す。



②ぎぼしが外れる。

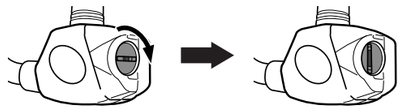


ご注意

●カバーをはさまない様ご注意ください。

お願い

●キー差込口が、横向きになっているときは、たて向きにしてください。



ご注意

●雨天後、ワイヤ錠が濡れた状態で、かばん等に入れたり、また衣類に触れると、他のものに色移りするおそれがありますので、ご注意ください。
●ワイヤ錠が汚れた状態で、かばん等に入れたり、また衣類に触れると、汚れるおそれがありますので、ご注意ください。

お知らせ

●長期間ご使用されますと、ワイヤ錠カバーが破れやすくなったり、色あせすることがあります。
●直射日光が当たったり雨がかかるところでは、市販のサイクルカバーのご使用をおすすめします。

■ 乗車について

⚠警告

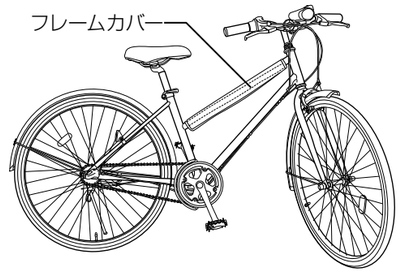
■乗車したまま段差の上り下りはしない（車道から歩道への段差等）

スタンドが段差にひっかかり、衝撃でバランスを崩し転倒によるけがのおそれがあります。
●自転車から降りて、押してください。

お知らせ

●各部が変形したり、破損するおそれがあります。

■ フレームカバーについて



ご注意

●雨天後、フレームカバーが濡れた状態では、他のものに色移りするおそれがありますので、ご注意ください。

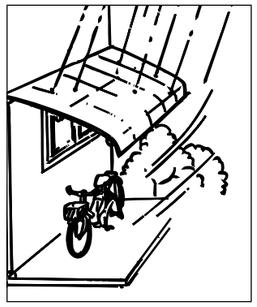
お知らせ

●長期間ご使用されますと、フレームカバーが破れやすくなったり、色あせすることがあります。
●直射日光が当たったり雨がかかるところでは、市販のサイクルカバーのご使用をおすすめします。

保　管　／　廃　棄

■保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管してください。
雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。



■廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電　　話（　　）　　ー
品　　番	車体番号
防犯登録番号	

定期点検

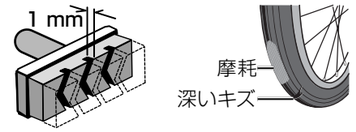
⚠警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故によるけがの原因になります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

- ●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても 2 年に 1 回は、交換する。
- ●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
- ●ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mmになる前に交換する。
- ●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 ヵ月目）点検と、6 ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2 ヵ月目）の点検と整備

お買い上げ 2 ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

● 2 回目以降（6 ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検　定期点検をし、安全走行をしましょう！

こんな症状はありませんか		
	●異常な音がする ●がたつきやゆるみ ●車輪の振れ ●ブレーキの効きが悪い	事故防止のため、必ず販売店に点検・整備をご依頼ください。

お手入れ／注油について

お手入れ

■日常のお手入れは、

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤(中性) を薄めてご使用ください。

■汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。
注油禁止場所には注油しないでください。(☞ 25 ページ)

■塗装部(フレーム体など)

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■めっき部(ハブなど)

乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ アルミリム使用車

雨天走行後は、前リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。
(黒く変色するのを防ぎます。)

お願い

●シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。)
●サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、すべります。)

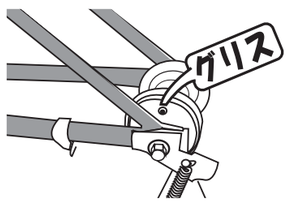
注油について

⚠警告

■リムやブレーキブロック(ゴム部) には、油をつけない

注油禁止

■ブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリスを使用する



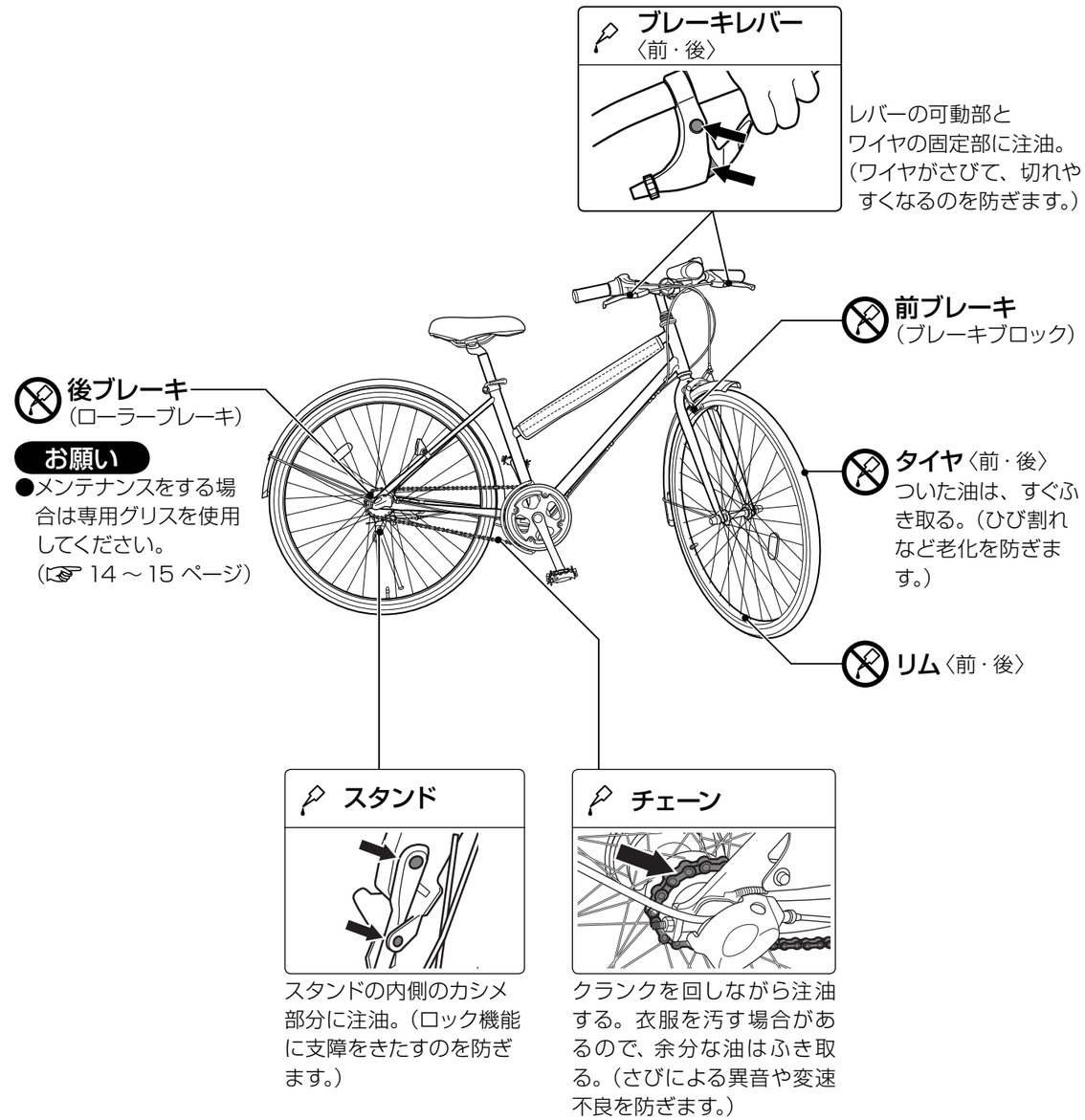
ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

注油場所と注油禁止場所

このマークは、注油場所を示します。　このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



盗難補償とアフターサービス

盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より１年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

（1）盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から1年間以内の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、
盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等）に、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。
追って、販売店から新車をお渡しします。

（3）盗難補償できない場合

イ．施錠せず盗難にあった場合
ロ．（2）の書類がそろわない場合
ハ．補償期間が過ぎている場合
ニ．盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
ホ．防犯登録がされてない場合
ヘ．盗難車が見つかり、返ってきた場合
ト．景品などの贈呈品の場合

お知らせ

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービスについて（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、	お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。 おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。
●保証期間が過ぎた後は、	お買い上げの販売店にご相談ください。

自転車安全基準／BAA マーク

この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会が JIS（日本工業規格）をベースに、DIN（ドイツ規格）など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS 指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

BAA マーク

「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。
「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。
※ BAA= 自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

オプション

別売部品

取付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に、販売店にご確認ください。
（掲載している品番は 2009 年 9 月 現在のものです。）
●価格等詳細については、販売店にご相談ください。

■ B-WKC63

※リヤキャリヤのオプションはありません。

バスケットセット NCB1883S

⚠ 警告

■積載条件から外れる荷物を積まない
〈バスケット積載条件〉
●大きさ：バスケットにおさまる大きさ
●重　さ：2 kg まで
バランスを崩したりブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

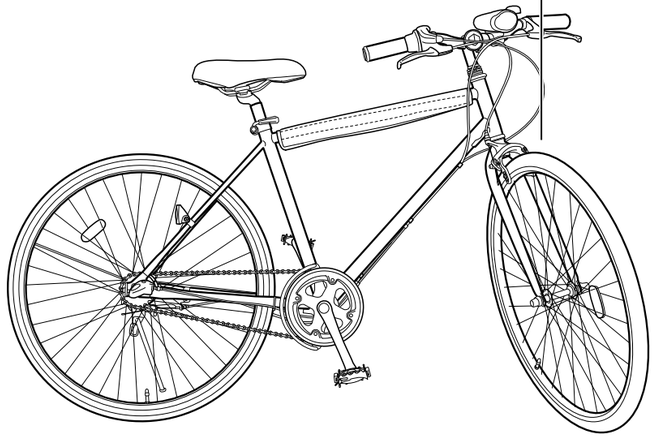
■ B-WSC63

※リヤキャリヤのオプションはありません。
※どろよけのオプションはありません。

バスケットセット NCB1883S

⚠ 警告

■積載条件から外れる荷物を積まない
〈バスケット積載条件〉
●大きさ：バスケットにおさまる大きさ
●重　さ：2 kg まで
バランスを崩したりブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。



必要なとき

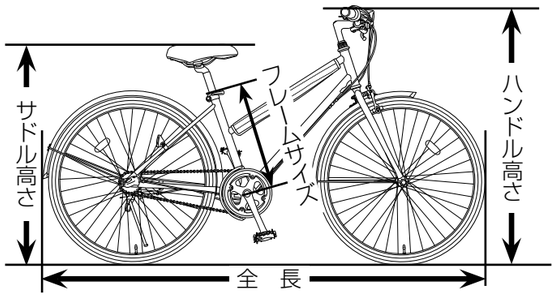
仕　様

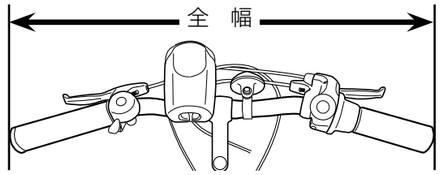
品　番		B-WKC63	B-WSC63
寸法	フレームサイズ	400 mm	460 mm
	全長	1,728 mm	1,715 mm
	全幅	580 mm	
	ハンドル高さ	931 mm ～ 966 mm	927 mm ～ 962 mm
	サドル高さ	762 mm ～ 904 mm	818 mm ～ 960 mm
フレーム		鉄	
ハンドルバー		オールランダー	
変速機		内装３段	
前ホーク		鉄／ノーマルホーク	
ブレーキ		前：キャリパブレーキ　後：ローラーブレーキ	
錠		ワイヤ錠	
スタンド		鉄／１本スタンド	
リム		アルミ	
タイヤバルブ		英式	
タイヤ（前・後）		26 × 1 3/8　WO	
乗車適応身長		139 cm 以上	149 cm 以上
質量		15.5 kg	14.6 kg

●乗車適応身長は、個人差がありますので目安としてください。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更等により、誤差が生じる場合があります。
●この自転車は、乗員体重を 65 kg で、基本設計しています。
　従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなる場合があります。

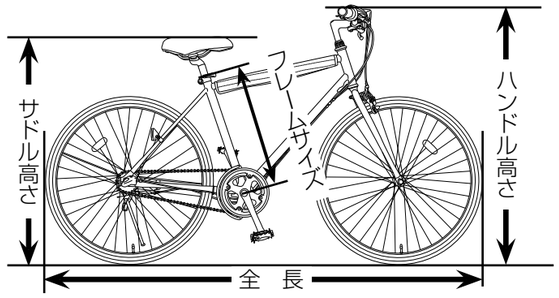
■寸法について

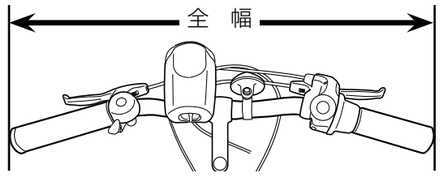
● B-WKC63





● B-WSC63





必要なとき